

第72回全国植樹祭の開催準備状況について

1 これまでの経緯

- ・平成30年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会を設立(第1回総会)
- ・平成30年8月 第72回全国植樹祭 滋賀県開催正式決定(国土緑化推進機構理事会)
- ・平成30年10月 第72回全国植樹祭 開催地正式決定:「鹿深夢の森(甲賀市)」
- ・平成31年2月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第2回総会)
- ・令和元年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第3回総会)
- ・令和2年1月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第4回総会)
- ・令和2年1月 第72回全国植樹祭の「基本計画」を策定
- ・令和2年4月 第72回全国植樹祭の開催年の延期が決定(令和3年→令和4年)
- ・令和2年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第5回総会(書面決議))
- ・令和3年3月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第6回総会(書面決議))

2 令和2年度の実行状況について

- ・実行委員会第6回総会(3月)において、令和2年度の実行状況について報告
 ※詳細については、【資料1】のとおり

3 今後の予定について(令和3年度事業計画)

- ・実行委員会第6回総会(3月)において、令和3年度事業計画を決定
 ※詳細については、【資料2】のとおり

【参考1】全国植樹祭の開催状況および予定

回数	開催年	開催県	開催地	備考
69	2018	福島県	海岸防災林(南相馬市)	2回目
70	2019	愛知県	愛知県森林公園(尾張旭市)	2回目
71	2021	島根県	三瓶山北の原(大田市)	2回目
72	2022	滋賀県	鹿深夢の森(甲賀市)	2回目
73	2023	岩手県	高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)	2回目
74	2024	岡山県	ジップアリーナ岡山(岡山市)【候補地】	2回目

【参考2】第72回全国植樹祭の開催理念（「基本計画」から抜粋）

私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森—川—里—湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人（暮らし）」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、碧（あお）く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。

令和 2 年度 of 取組状況について

1 会議の開催

(1) 総会

- 実行委員会第 5 回総会の書面開催

書面評決日：令和 2 年 7 月 27 日（月）

議決権の行使：66 名

内 容：令和元年度事業報告、令和元年度収支決算報告

令和 3 年度変更事業計画、令和 3 年度収支予算の承認

- 実行委員会第 6 回総会の書面開催

書面評決日：令和 3 年 3 月 26 日（金）

議決権の行使：62 名

内 容：令和 2 年度事業報告

令和 2 年度補正予算、令和 3 年度事業計画および収支予算の承認

(2) 幹事会

- 第 4 回幹事会の開催

開催日：令和 2 年 6 月 23 日（火）

場 所：滋賀県大津合同庁舎 7 階 7-A 会議室

出席者：幹事(18 名/内 3 名代理出席)

内 容：第 5 回総会に諮る案件の事前審議



【実行委員会第 4 回幹事会】

- 第 5 回幹事会の開催

開催日：令和 3 年 2 月 12 日（金）

場 所：滋賀県大津合同庁舎 6 階 6-D 会議室

出席者：幹事(17 名/内 5 名代理出席)

内 容：第 6 回総会に諮る案件の事前審議

(3) 専門委員会

- **式典専門委員会**

① 付託事項 式典行事にかかる演出・内容等の検討に関すること

② 会議の開催

・第 5 回 会 議：令和 2 年 11 月 18 日

・第 6 回 会 議：令和 3 年 3 月 10 日

- **おもてなし・魅力発信専門委員会**

① 付託事項 ア 「おもてなし弁当」の制作に関すること
イ 式典会場における「おもてなし広場」の企画に関すること
ウ 県外招待者に対する「視察コース」の検討に関すること
エ その他、おもてなし・魅力発信に関すること

② 会議の開催

・第 3 回 会 議：令和 3 年 1 月 28 日

2 実施計画の策定

- ・実施計画は、基本計画（令和2年1月策定）に記載された事項を踏まえつつ、開催に向けて実施すべき具体的な事項（式典行事計画、植樹行事計画等）について定めるもの。
- ・この実施計画は、当実行委員会において令和2年度から令和3年度の2か年で作成。
※実施計画については、素案（第6回総会）、中間案（第7回総会：R3.8予定）、案（第8回総会：R4.1予定）の3段階で御審議いただき、最終的に国土緑化推進機構の特別委員会（R4.2予定）での承認をもって策定となる。
- ・会場整備や大会運営にあたっては、「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」や「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を踏まえ、環境に最大限配慮しながら、“しがCO₂ネットゼロ”（CO₂排出量実質ゼロ）の大会を目指すことを開催方針に明記する。

3 会場整備

(1) 式典会場の整備

- 式典会場の整備にかかる測量・設計を実施
- 御料車道の整備にかかる測量・設計を実施
- 式典会場（入場チェックエリア、おもてなし広場、本部エリア等）の配置計画等を検討

(2) 招待者記念植樹会場の整備

- 各招待者記念植樹会場の土壌改良および維持管理等を実施

4 式典運営準備

(1) 式典・演出内容の検討

- プロローグ、記念式典、エピローグの演出内容を検討
- 式典中の演奏曲を検討

(2) 出演者の選定

- 式典にかかる出演者の選定および出演内諾の依頼

5 宿泊・輸送および招待者計画の作成等

(1) 宿泊・輸送計画の検討

- 宿泊計画にかかる検討。
- 輸送ルートおよび輸送手段の検討および関係機関との調整
- 式典会場周辺の駐車場計画の検討および関係機関との調整
- 指定集合地の検討および現地調査の実施。

(2) 招待者計画の検討、招待者管理

- 式典およびレセプションにかかる招待者の検討
- 県内公募にかかる要領の検討

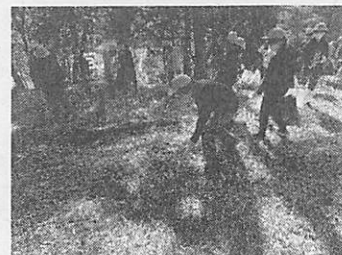
(3) 招待者接遇の検討

- 招待者へ配布する記念品の検討および市町との調整
- おもてなし弁当、おもてなし広場、視察コースの検討

6 県民活動の推進

(1) ビワイチぶらす森づくり事業

全国植樹祭に向けて、県内全域、県民総ぐるみで盛り上げていくため、令和元年度から令和3年度までの3年間、県内の市町等が主体となって実施する植樹活動など、琵琶湖を守る森林の大切さの普及啓発や森林や木に親しむ活動および植樹祭のPR活動に対して支援する。



【湖南市 ウツクシマツの落ち葉掃き】

実施主体名(市町名)	実施日(期間)	実施場所および内容
彦根市立鳥居本中学校(彦根市)	令和2年9月30日	【ウッディパル余呉ほか】 鳥居本中学校生徒による木製品づくりおよび長浜市西浅井町黒山での林業見学、ウッディパル余呉での木工などの校外学習
森林マッチングセンター運営協議会(長浜市)	令和2年7月27日、 8月8日、9月22日、 10月4日、11月23日、 12月12日、 令和3年1月20日	【集福寺環境保全林(西浅井町)】 みんなが通える森づくり 木道づくり、ワークショップ、トレッキング、レクリエーション、カエデ樹液採取など
豊かな杜づくり隊(近江八幡市)	令和3年1月5日、 2月20日、3月7日、13日	【老蘇コミュニティセンター、B&G 海洋センター ふれあいハウス、常楽寺山麓のシイタケ広場】 町民(主に子ども)を対象に、地元の山から切り出した原木を活用したしいたけの菌打ち体験
(公財)草津市コミュニティ事業団(草津市)	令和2年7月18日～ 8月16日、 10月3日～25日	【草津市ロクハ公園】 ・カブトムシの家(7.18～8.16) ・緑化フェア2020(10.3～10.25) ※緑化に係る啓発月間、木工クラフト、カブトムシ観察会
守山市	令和3年3月13日	【びわこ地球市民の森】 自然観察および木工体験
・大篠原生産森林組合 ・野洲市環境基本計画推進協議会 ・やす緑のひろば(野洲市)	令和2年10月 ～令和3年3月各日	【大篠原生産森林組合】(R2.10～R3.3) 漁民の森づくり ・ふれあいの森づくり事業(植栽活動 3.6) 【野洲市環境基本計画推進協議会】(R2.10～R3.3) クラフト作り、城跡探訪登山(自然観察) 【やす緑のひろば】 自然観察、竹細工等(R2.9～R3.2)
湖南市立三雲小学校(湖南市)	令和2年11月27日	【平松のウツクシマツ自生地】 三雲小学校児童90名によるウツクシマツの保全活動の授業および自生地での落ち葉掃き作業
巨木と水源の郷をまもる会(高島市)	令和2年9月27日、 10月11日	【朽木いきものふれあいの里跡地】 ・地域の森林や、森に関わる座学(9/27) ・跡地での植林体験(10/11)
米原市	令和2年10月31日、 11月14日	【石臼荘(曲谷)】 ・ミガチの保護啓発・どんぐり植樹体験会(10/31) 【旧東草野小学校甲津原分校跡地(甲津原)】 ・防災講演・スウェーデン・チ製作体験会(11/14)

実施主体名(市町名)	実施日(期間)	実施場所および内容
日野町	令和3年2月26日	【町内の各幼稚園、認定こども園】 木製玩具の配布を通じた幼児への木育活動
竜王町	令和2年11月29日、 令和3年1～3月	【雪野山】 全国植樹祭のプレイベントとして、ハイキングコース等における下草刈りや枝払い作業等(11/29) 【町立図書館】 植樹祭啓発コーナーの設置(1～3月)
愛荘町緑化推進会(愛荘町)	令和2年10月24日	【山比古湧水】 「秋の草花ときのご観察会」
多賀町	令和2年6月6日、 8月1日、9月12日、 10月22日、11月9日、 21日、 令和3年3月6日	【大滝小学校林、高取山、多賀幼稚園】 ・除間伐、下草刈り、枝打ち、テープ巻き、林業見学 ・木工クラフト、シイタケ菌打ち

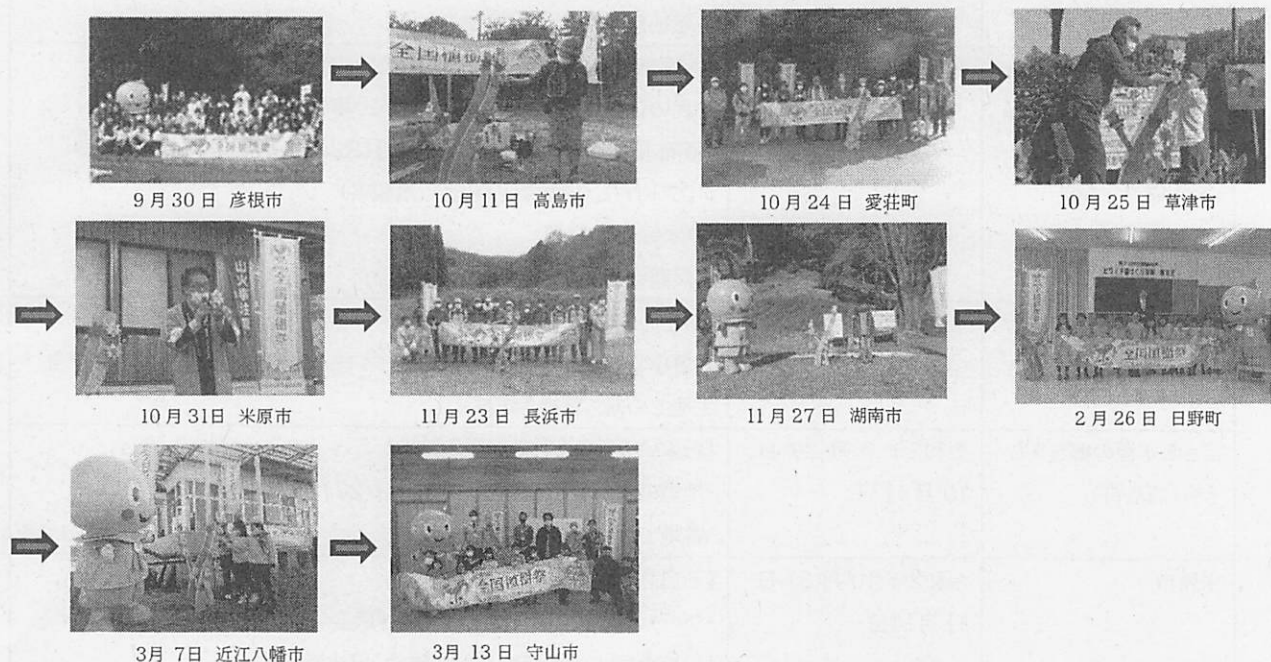
●ピワイチぷらす森づくりリレーイベント

全国植樹祭の開催までに、前回の全国植樹祭滋賀県大会の開催地である栗東市の「滋賀日産リーフの森」からスタートした森づくり活動が、全ての市町で実施されて今大会の開催地である甲賀市につながるよう、リレー形式で実施する。

木製リレーモニュメントは、県の木・もみじをイメージしたデザイン。滋賀県立大学の中西茂行先生と環境建築デザイン学科の学生で構成される「多賀木匠塾」が製作。ピワイチ森づくり事業を実施した市町を木製もみじで表示する。

(令和元年度実施済は、栗東市、東近江市、竜王町、多賀町、野洲市)

<実施状況>



(2) こども水源の森サミット

県内および琵琶湖を水源として利用する県外の緑の少年団が交流し、大会への機運を醸成するとともに、琵琶湖・淀川流域における滋賀県の森林づくりの重要性を共有した。

◇時 期：令和2年11月22日（日）

◇場 所：みなくち子どもの森（甲賀市）

◇参加団：県内12団130名、京都・大阪・兵庫の3団46名

◇内 容：記念植樹、他府県の団とのリモートでの交流、木工工作体験など

(3) 苗木のホームステイの実施

●全国植樹祭や関連イベント等で使用する苗木を、県内および琵琶湖・淀川流域の一般の方や企業・団体等に協力していただきながら育てる「苗木のホームステイ」の取組を実施。この取組を通じて、準備段階から県内全域および琵琶湖・淀川流域（県外）を巻き込み植樹祭を盛り上げるとともに、森づくりに対する意識の高揚を図る。

◇時 期：平成30年10月～

◇応募数：218件（うち県外12件）

◇苗木本数：6,726本（うち県外137本）



【苗木のホームステイ配布セット】

●県外で参加いただいている施設・団体等

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ・NPO 法人とよなか市民環境会議アソシエイト 21（大阪府） | ・羽曳野市緑の少年団（大阪府） |
| ・淀川河川公園守口サビセンター（大阪府） | ・清風南海学園高等学校（大阪府） |
| ・淀川河川公園鶴飼サビセンター（大阪府） | ・同志社中学校（京都府） |
| ・三川合流域さくらであい館（京都府） | ・琵琶湖疏水記念館（京都府） |

●苗木だよりを季刊誌として発行し、時期ごとの苗木の育生方法や事業参加者からのメッセージ、植樹祭に関連する情報を発信。

◇苗木だより第2号～第5号：令和2年4月～令和3年1月（四季ごとに発行）

(4) 苗木のスクールステイの実施

●県内の小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」事業と連携し、全国植樹祭や関連イベント等で使用する苗木を小学生に協力していただきながら育てる「苗木のスクールステイ」の取組を実施。「やまのこ」事業の一環で全国植樹祭に関わっていただくことで、森林環境学習の効果をより高めるとともに、大会の開催機運の醸成を図る。

◇時 期：令和元年5月～

◇取組校：228校

◇苗木本数：4,562本

●苗木だより配布の他、子ども向けの、より分かりやすい媒体として「子どもかべしんぶん 緑のしずく」を発行し、参加校各学年掲示板等に掲示してもらう。

◇子どもかべしんぶん創刊号：令和3年1月発行

●苗木の一斉状況調査を行い、枯れた苗木については補填対応を計画。

(5) コロナに負けないぞ！！子ども応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響により外出が制限される中、子どもたちに家に居ながらにして取り組める「コロナに負けないぞ！！子ども応援プロジェクト」の一環として、森や自然に対する関心と全国植樹祭への意識の高揚を図る取組を実施しました。

●「窓の景色で森アート インスタグラムフォトコンテスト」

◇内 容：自宅の窓に色紙やセロファンで森や山の風景を作り、インスタグラム上でフォトコンテストを行う。

◇時 期：令和2年4月15日～7月31日

◇応募数：43作品（ファミリー部門：15、一般部門：15、教育部門：13）

●「自然の中の宝ものさがし」

◇内 容：自然の中で集めた落ち葉に絵の具を塗ってノートなどに拓本する SYOKUJUIN帳づくり等を行う。

◇時 期：令和2年6月1日～9月30日

◇応募数：17作品

●「おうちで木工マイスター！？With 全国植樹祭しが2022」

◇内 容：木工作品づくりをとおして子ども達に木の良さや親しみを感じてもらう。

◇時 期：令和2年7月15日～8月5日

◇申込者数：450名（うち当選者数：50名）

(6) 秋のプレ植樹祭

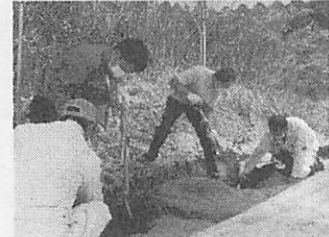
植樹祭の1年延期により苗木が大きく育ちすぎるという課題があったが、ピンチをチャンスに変えて、秋に県内各地で植樹に取り組んだ。

① 「トヨタ紡織グループ『環境の森』青土」での植樹

〈令和2年10月17日（土）

／青土ダムエコーバレイ（甲賀市）

内 容：トヨタ紡織滋賀(株)、土山山林財産区管理会、甲賀市役所と連携した植樹（約50名参加）



【①活動の様子】

② 「コープの森 余呉」での植樹

〈令和2年11月14日（土）

／ウッディパル余呉（長浜市）

内 容：生活協同組合コープしが、中之郷生産森林組合、長浜市役所と連携した植樹（約140名参加）



【②活動の様子】

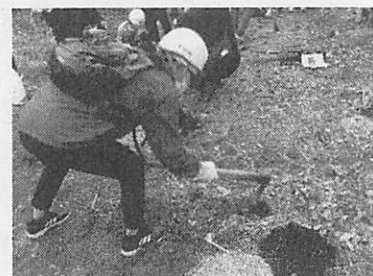
③ 秋のプレ植樹祭 in みなくち子どもの森

〈令和2年11月22日（日）

／サントピア水口、みなくち子どもの森（甲賀市）

内 容：緑化功労者表彰式、植樹、木工体験または林業体験

⇒「招待者記念植樹会場」の1つにて植樹祭で使用する予定であった“苗木のホームステイ”等の苗木を植樹、松ぼっくりのクリスマスツリーづくり、または丸太切り体験で「やまのこ」の一端を体験いただいた。



【秋のプレ植樹祭での植樹体験】

使用苗：企業育成苗 73本、個人育成苗 26本

参加者数：259名

(うちホームステイからの参加者：39名)

(7) イベント出展 (第72回全国植樹祭が2022PR等)

① 「びわ湖の日」パネル展示

〈令和2年7月8日(水)～28日(火)〉

／草津近鉄百貨店(草津市)



② 「木のある暮らしコレクション」ワークショップ

〈令和2年7月24日(金・祝)／草津近鉄百貨店(草津市)〉 【①「びわ湖の日」パネル展示】

- 木製プランターカバー製作を体験いただいた。

③ びわ湖水源のもりづくり月間展示

〈令和2年10月12日(月)～10月30日(金)／甲賀合同庁舎ロビー(甲賀市)〉

④ 森林の仕事ガイダンス

愛知会場 〈令和2年10月13日(火)〉

／JPタワー名古屋(愛知県)

東京会場 〈令和2年11月3日(火・祝)〉

／東京国際フォーラム(東京都)

福岡会場 〈令和2年11月14日(土)〉

／エルガーラホール(福岡県)



【④森林の仕事ガイダンス 東京会場】

- 広報協力：一般社団法人滋賀県造林公社

⑤ ナショナルサイクルルート指定1周年イベント

〈令和2年10月31日(土)／県庁正面玄関(大津市)〉

- PR大使「うおーたん」が応援に駆け付けた。



【⑤ナショナルサイクルルート指定1周年イベント】

⑥ 滋賀県苗木ネットワーク主催イベント

「全国植樹祭を応援しよう」

〈令和2年11月16日(月)／比叡山(大津市)〉

- 比叡山延暦寺を訪れた観光客へのPRも実施。



【⑥滋賀県苗木ネットワーク主催イベント】

⑦ 緑の少年団「こども水源の森サミット」

〈令和2年11月22日(日)〉

／みなくち子どもの森(甲賀市)

- 記念植樹、他府県の団とのリモートでの交流、木工工作体験 など

⑧ 「秋のサイクリング」体験会

〈令和2年11月29日(日)／滋賀県立希望ヶ丘文化公園(野洲市)〉

⑨ 湖東の環境活動展

〈令和2年12月19日(土)／ビバシティ彦根(彦根市)〉

(8) 実行委員会への協賛状況 (令和3年3月末時点)

- 申込状況
 - 資金協賛 : 17,700,000円・52件
 - 物品協賛 : 5,918,000円相当・10件
 - その他 : 4,812,160円相当・6件

(9) その他

① インターネットによる情報発信

- ・公式ホームページでの実行委員会等の開催状況、苗木のホームステイ取組状況、イベント出展情報などの発信

- ・公式SNS (Facebook・Instagram) による広報

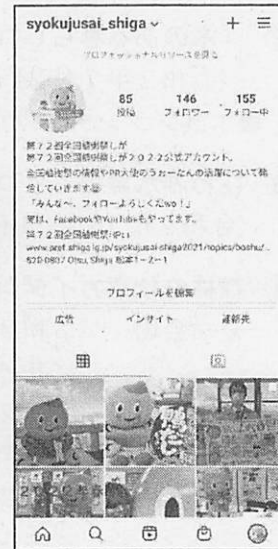
今年度投稿数 約100件 総リーチ数 約25,000人
(Instagram/3月末時点/インサイトデータより)



【公式ホームページ】



【Facebook】



【Instagram】

② 広報誌・テレビ等による情報発信

- ・植樹祭だより 緑のしずく 特別号
- ・植樹祭だより 緑のしずく 第2号
- ・滋賀プラスワン5・6月号
- ・滋賀プラスワン9・10月号
- ・淡海のもり4月号、8月号、12月号
- ・秋のプレ植樹祭テレビCM (BBC放送)



【秋のプレ植樹祭CM】



【滋賀プラスワン5・6月号】



【植樹祭だより 緑のしずく 第2号】



【淡海のもり 12月号】

令和3年度事業計画について

1 会議の開催

(1) 総会（2回）

◇第7回総会：令和3年8月頃〔予定〕

実施計画（中間案）、令和2年度事業報告および収支決算、令和3年度収支予算(案)の審議等

◇第8回総会：令和4年1月頃〔予定〕

実施計画（案）、令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)の審議、令和3年度取組状況の報告等

(2) 幹事会（2回）

◇第6回幹事会：令和3年7月頃〔予定〕

第7回総会に諮る審議事項等

◇第7回幹事会：令和4年1月頃〔予定〕

第8回総会に諮る審議事項等

(3) 専門委員会（2部門、4回）

基本計画記載事項のうち、専門的知見を必要とする事項について、専門委員会を設置し付託する。

◇式典専門委員会（2回）【継続】

式典行事にかかる演出内容、出演者の検討等

<開催予定>第7回：6月頃、第8回：11月頃

◇おもてなし・魅力発信専門委員会（2回）【継続】

おもてなし弁当、おもてなし広場、招待者視察コースの検討等

<開催予定>第4回：6月頃、第5回：11月頃

2 実施計画の策定

令和2年1月に策定した「基本計画」を踏まえて、令和2年度から令和3年度の2か年で、さらに詳細な内容を記載した「実施計画」を作成する予定。

令和3年度は、第7回総会で実施計画(中間案)を、第8回総会で実施計画(案)をそれぞれ審議し、最終的に国土緑化推進機構の特別委員会（令和4年2月予定）での承認をもって策定。

3 会場整備

(1) 式典会場の整備

- ・式典エリアの芝生造成、御料車道、御歩道、お野立所等構造物の造成
- ・会場飾花の育生、お野立所フラワーアレンジメント花器等の制作

(2) 招待者記念植樹会場の整備

- ・各植樹会場の設計および整備（区画割、歩道整備、獣害防護柵設置等）

(3) サテライト会場等の整備

- ・サテライト会場

式典映像の配信方法およびイベントやブース内容等の検討および関係者との調整

- ・一般植樹会場
各植樹会場の調査等、イベントやブース内容等の検討
- ・PR会場
イベントやブース内容等の検討および下流府県等関係者との調整

4 式典運営準備

(1) 式典演出計画等の作成

- ・式典演出計画、運営計画等の作成
- ・演出機材（照明、音響等）の配置計画の作成

(2) 出演者の決定、調整等

- ・式典にかかる出演者への出演依頼
- ・出演者研修会、合同練習会等の実施

5 宿泊・輸送および招待者計画の作成等

(1) 宿泊・輸送計画の作成

- ・宿泊および輸送体制にかかる関係機関との調整および実施計画の作成

(2) 招待者計画の作成、招待者管理

- ・招待者基本計画の作成
- ・式典およびレセプションにおける招待者の決定
- ・招待者管理システムによる一元的な管理

(3) 招待者接遇の検討

- ・招待者区分ごとの接遇内容の検討
- ・おもてなし弁当、おもてなし広場、視察コースにかかる計画作成
- ・レセプション計画の作成
- ・各種本部員マニュアルの作成・統括

6 第72回全国植樹祭滋賀県実施本部（仮称）の設置

大会の円滑な運営を図るための実行組織として、「第72回全国植樹祭滋賀県実施本部（仮称）」を令和3年秋頃に設置する予定。

県職員のほか、市町職員、ボランティアなどの積極的な協力を得て、効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化や参加者の安全性、快適性の確保に努める。

7 県民活動の推進

(1) 関連イベント等の実施

◇第72回全国植樹祭1年前記念イベント「緑のしずく祭」

全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知、開催機運の醸成を図るため、1年前記念イベント「緑のしずく祭」を開催する。

<時期> 令和3年6月6日（日）

<場所> ビラデスト今津（高島市今津町深清水）

<内 容> 記念伐採、記念植樹、木工体験（プランターカバー作り）、森林に親しむ体験や物販などによる大会やサテライト会場、一般植樹会場等のPR

◇「木製地球儀」巡回展示およびPRキャラバン

第72回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示する。巡回展示に合わせて、各市町において植樹祭のPR、木工、木育等を内容とするキャラバンを実施する。

<時 期> 令和3年6月（1年前記念イベント後）～令和4年春（大会直前）

◇カウントダウンイベント

第72回全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日決定後、カウントダウンボードの除幕式や開催日までのカウントダウンイベントを実施する。

◇こども水源の森サミット

県内全域に加え、琵琶湖を水源として利用するすべての府県から緑の少年団の参加を募り、大会への機運を醸成するとともに、琵琶湖・淀川流域における滋賀県の森林づくりの重要性を共有する。

<時 期> 令和3年11月頃（予定）

<場 所> 甲賀市土山体育館およびその周辺（予定）

◇苗木のホームステイ・スクールステイ

原則として育成期間を1年延長して継続する。

スクールステイについて、昨年度育成状況を調査したところ、65校で全数枯死していることが判明した。再配布希望を募ったところ31校で希望があったことから、4月下旬に事務所を通じて再配布を行う。

事業参加者に配布している木製プレートに寄せ書きメッセージをいただき、おもてなし広場等における掲示を準備。

苗木回収時期：令和4年1月～3月頃

◇ビワイチぶらす森づくり事業

県内全域・県民総ぐるみで大会を盛り上げていく取組の一環として、全市町で一般県民等を対象とした森づくりイベント等を実施し、その中で、木製モニュメントをリレーすることにより県内全市町をつなぐ取組を実施してきた。当初、令和2年度までを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりやむを得ず実施できなかった市町についてのみ、令和3年度に追加実施する。

<時 期> 令和元年11月10日（日）～

<場 所> 大津市、甲賀市、東近江市（リレー実施済）、豊郷町、甲良町

<内 容> 植樹、森林整備、木工体験および植樹祭のPR活動等

◇琵琶湖博物館での全国植樹祭開催記念ギャラリー展

全国植樹祭のサテライト会場となる琵琶湖博物館において、開催を記念したギャラリー一展示を開催までの一定期間行い、森や木を身近に感じてもらうことで、植樹祭の機運醸成および森林林業の普及啓発を図る。

<時 期> 令和3年度末頃～令和4年春（大会当日頃）

(2) 企業等による協賛

企業や団体、個人等を対象に、全国植樹祭の開催に対する協賛や寄附を募り、資金や物資等により大会運営に御協力いただくことで、多様な主体の参画による滋賀らしい全国植樹祭を目指す。

(3) 広報活動の実施

滋賀県の公式キャラクターであり全国植樹祭しがPR大使のうおーたんを効果的に活用しながら、県ホームページやSNS、広報誌など様々な媒体を通じて取組を情報発信するとともに、横断幕、カウントダウンボード、ポスターなどの広報啓発品を製作し、各種イベント等を通じて開催をPRすることで、全国植樹祭の開催に向けた機運の醸成を図る。

- ・全国植樹祭ホームページの運営
- ・全国植樹祭だより「緑のしずく」の発行
- ・新聞、テレビ、ラジオ、および YouTube、Instagram などの SNS 等を活用した大会PR
- ・横断幕、カウントダウンボード、ポスター等広報啓発品による大会PR 等



【横断幕活用イメージ】